

馬主だより

第82号

平成28年12月22日
発行 (一社)ばんえい競馬
馬主協会事務局

☆新たな発想で一層の飛躍を遂げる一年となるよう！！

▼2016年も何かと慌ただしい師走を迎え、今年も残すところ僅かとなりました。一年を振り返ると今年も様々な出来事がありました。熊本の地震、北海道・東北を襲った台風10号などの自然災害、英EU離脱、参議院議員選挙、東京都知事舛添氏辞職から小池氏就任へ、リオ五輪・パラリンピックの開催、米次期大統領にトランプ氏が選出、韓国朴大統領弾劾などなど、起こり得ず、起こるべきでなく、起こらないであろう全てが起こった激震が走る一年でした。▼2016年今年の世相を表す漢字一字は“金”でしたが、やはりリオ五輪の金メダルラッシュは多くの国民の心に深く刻まれたのでしょうか！その中でも体操男子団体と体操男子個人総合の内村航平選手の逆転金メダルは、最も印象に残りました。▼ばんえい競馬にとってこの一年間は、競馬の根幹である公正競馬の確保とファン信頼回復のため、試練と困難の1年となりました。▼さて、来年の干支は「丁酉(ひのととり)」です。酉のつく年は商売繁盛繫がると考えられているそうです。酉(とり)は「取り込む」に繫がるといわれ、そこから運氣もお客様も取り込めることを大いに期待し、更に関係者一丸となって取り組んでまいります。▼枠にとらわれない新たな視点、発想を取り込み、より積極的かつ実践的に活動し、拡大成長を遂げる一年にしたいものです。

平成28年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催106日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成28年12月19日終了時

区分	発売金額							
	平成28年度			平成27年度		対比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
帯広競馬場	106	924,409,300	937,521,400	106	1,020,373,300	98.60	90.60	
直営場外	旭川北彩都	106	508,840,100	498,532,800	106	559,314,700	102.07	90.98
	ミトスポット北見	106	243,903,000	212,521,600	106	245,763,600	114.77	99.24
	ハロンス岩見沢	106	156,385,000	165,867,700	106	176,071,000	94.28	88.82
	ハロンス釧路	106	65,262,900	63,531,900	106	74,981,800	102.72	87.04
	ハロンス名寄	106	99,468,800	60,760,800	106	75,785,000	163.71	131.25
	アプスポット網走	106	38,365,900	47,843,200	106	61,617,100	80.19	62.27
	琴似駅前	106	99,844,100	92,641,000	106	101,728,800	107.78	98.15
	イルムふかがわ	106	62,942,200	78,596,800	106	83,498,200	80.08	75.38
電投	オッズパーク	106	3,485,886,900	3,324,223,400	106	3,351,513,800	104.86	104.01
	OP(七重勝)	106	50,788,200	63,600,000	106	37,889,500	143.52	134.04
	OP(五重勝)	106	40,491,500		106	27,042,700		149.73
	競馬モール	106	3,031,770,400	2,504,197,100	106	2,554,313,700	121.07	118.69
	SPAT4	34	838,630,600	534,627,500	31	547,659,700	156.86	153.13
広域場間場外	—	829,496,000	717,881,500	—	799,765,500	115.55	103.72	
場外・電投計	—	9,552,075,600	8,364,825,300	—	8,696,945,100	114.19	109.83	
合計	106	10,476,484,900	9,302,346,700	106	9,717,318,400	112.62	107.81	
1日平均		98,834,763	87,757,988		91,672,815	112.62	107.81	

平成28年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで106日間)

平成27年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで106日間)

会議等の様子

○ 帯広市公正確保対策委員会開催される！！

～調整ルーム携帯電話使用事案 再発防止策の取組状況を報告～

平成28年10月14日(金)午後1時から、帯広競馬場会議室に於いて、今年度第2回目となる帯広市公正確保対策委員会が開催されました。

始めに、地方競馬全国協会の西澤公正部長より地方競馬の概況について報告がありました。

全国の地方競馬の開催成績は、売上げが全ての競馬場で前年比増となっており、地方全体で在宅投票による発売の伸びが続いている。一方、公正確保の関係では、薬物関係、検量失格、馬の取り違え、制裁状況、不祥事等の事案について説明がありました。また、今後の課題としては、騎手のドーピング検査導入(アルコール呼気検査と尿の理化学検査)を検討している旨の報告がありました。

次に、ばんえい競馬における、競馬法違反等不祥事案の再発防止策の実施状況、騎手の調整ルームでの携帯電話使用事案、今後の取組みについては、帯広市から説明がありました。再発防止の取組み項目については次のとおりです。

【再発防止策実施概要】

- 1 法令遵守に対する意識改革
 - (1) 公正確保対策委員会 (年2回実施)
 - (2) 公正確保規律委員会 (毎月実施)
 - (3) 訓示会
 - 調教師 (毎月月初めの開催初日に実施)
 - 騎手 (毎開催初日に実施)
 - (4) 法令遵守及び情報共有を目的とした勉強会の実施
 - 調教師 (4半期に1回)
 - 騎手 (4半期に1回)
 - きゅう務員 (毎月)
 - (5) 調教師・騎手・きゅう務員への面談実施 (年2回)
- 2 規律の厳格化及び監視体制の強化
 - (1) 携帯電話の管理状況 (開催毎)
 - (2) 電話投票委託会社との連携強化
 - (3) きゅう舎巡回実施状況 (月1回)
 - (4) 保安要員等の配置状況
 - ・平成28年度より警察OBを1名整理専門委員として配置
 - ・平成28年度より駐在日数65日程度の増。
(昨年35日から100日程度)
- 3 きゅう舎関係者とお客様等とのコミュニケーションの場の形成
 - (1) 地域活動等への参加
 - ・競馬場周辺のゴミ拾い・開幕パレード・場内イベント
 - (2) ファンサービスへの積極的な参加
 - ・騎手に対しインタビューを行い場内放送及びインターネット配信の充実
 - (3) お客様意見箱の設置
- 4 競馬運営委託会社社員への研修実施
- 5 警備会社社員への研修実施

○ 平成 28 年 4 月～9 月期監事監査実施

～理事の職務執行状況、協会の業務、財務、会計について監査～

平成 28 年 10 月 16 日(日)当協会事務局会議室に於いて、平成 28 年 4 月から 9 月期までの上半期 6 ヶ月間における理事の職務の執行状況、また、協会の業務並びに財務及び会計の状況について、当協会の熊谷、堂場両監事による監査を行いました。

監査には、理事者を代表して赤堀代表理事長、長津専務理事が立会し、事務局から平成 28 年度の事業実施報告、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について、また、決算報告書などの関係資料について説明。その後、出納簿等の証拠書類について調査、閲覧、報告の聴取等により監査を受けました。

【監査資料】

資料 1 平成 28 年度事業実施報告

資料 2 平成 28 年 4 月～9 月期決算報告書（財務諸表等）

- ・貸借対照表・正味財産増減計算書・予算対比正味財産増減計算書・収支計算書
- ・予算推移付収支予算管理月報・財産目録・貸借対照表内訳表・正味財産増減計算書内訳表・収支計算書内訳表・特定資産の増減及びその残高・固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

資料 3 参考資料

- ・各事業に関連する費用額の配賦計算書（給料手当、給料手当以外の経費）・平成 28 年度流通促進事業収支、純益総括表・平成 28 年度機構図・平成 28 年度ばんえい競馬発売成績

○ 平成 28 年度第 3 回執行役員会、第 4 回理事会を開催！！

～中期五ヶ年経営計画骨子について協議～

平成 28 年 10 月 23 日(日)午前 11 時から、当協会事務局会議室に於いて、平成 28 年度第 3 回執行役員会を開催致しました。

議事は、競走馬弔慰金の査定について、今回、馬弔慰金対象事故馬 3 頭について審議しました。結果、下記「馬弔慰金支給対象馬」のとおり承認されました。また、昨年度から実施している診療業務サポート事業の予算執行状況等について報告。医療機器購入(リース)、診療施設の修繕や老朽化した附帯設備(ストーブ等)更新等の状況について確認しました。

今後においても、サポートの範囲や必要な支援について、帯広市、当協会と連携を図り、獣医師の意向も尊重しながら進めて行くこととなりました。

その他、第 4 回理事会開催に先立ち議案等について事前審議を致しました。

【第 3 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 診療業務サポート事業に対する獣医師の意向について
- (3) 平成 28 年度第 4 回理事会議案について

【馬弔慰金支給対象馬】 3 頭 2, 100, 000 円

内 訳

(単位;円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ジーワンクイーン	3	桑 田 壽	業務中	700, 000
カゲコーコ	2	仲 良 一	業務中	700, 000
ユメヒカル	2	高 田 文 男	業務中	700, 000

執行役員会終了後、引き続き第4回理事会を開催致しました。

議事は、報告事項が第1号から第5号まで、監事中間監査の実施状況や発売成績、報償費の支給状況等について報告致しました。

また、協議案では、来年度以降、平成29年度から平成33年度までの当協会の中期五ヶ年経営計画案の策定にあたり、運営の方向性と中期的な将来ビジョンを明確に定めるとともに、将来を見据え経営基盤の強化を図るという視点に立ち計画を立案します。また、各事業を推進するため、事業毎に目標を設定し具体的な取り組み内容を明記、収支見通しも併せて計画に明示することなど、基本の方針について確認致しました。

今後は、事業が多岐に亘っていることから、審議に相当な時間を要することが予測されるので、執行役員会において各事業評価を通じ、一定の方向性を打ち出すことになっております。それを理事会で具体的に審議する方向で議論を深めることとなり、短時間で集中的に審議を行って参ります。

【第4回理事会議事】

- | | | |
|-----|--------|-------------------------------------|
| 日程1 | 報告第1号 | 競走馬弔慰金の給付額の決定について |
| | 報告第2号 | 正会員の入会申込みについて |
| | 報告第3号 | 監事中間監査の実施について |
| 日程2 | 報告第4号 | 発売成績及び報償費の支給状況等について |
| 日程3 | 報告第5号 | 帯広市公正確保委員会開催について |
| | 参考資料 | 「きゅう舎関係者に対する法令遵守の徹底と再発防止策の管理状況について」 |
| 日程4 | 協議案第1号 | 中期五ヶ年計画の骨子について |
| | 参考資料 | ① 「中期五ヶ年経営計画（案）」 |
| | | ② 「中期五ヶ年経営計画（案）補足資料 各事業費の推移」 |
| | | ③ 「正味財産増減計算書五ヶ年の推移」 |
| 日程5 | その他 | ① ばんえいPR映像制作企画書（案）について |

【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
28-2	菊池裕之	北16-4	北網ブロック
28-3	江谷輝明	北05-5	道東ブロック
28-4	(株)KGF 代表取締役 加藤朝巳	法16-1250	道南ブロック
28-5	秋田忍	北16-9	道南ブロック
28-6	舘野竜一	北16-11	道東ブロック
28-7	中村光雄	北16-12	道南ブロック

情報・ご案内

- 昨年度のばんえい競馬の経済波及効果 来年2月めどに試算！！
～帯広市議会決算審査特別委員会で表明～

平成28年10月11日(火)に開催された帯広市議会決算審査特別委員会に於

いて、帯広市は、昨年度のばんえい競馬の経済波及効果について帯広畜産大学の協力を得て調査に乗り出しており、来年2月を目途に試算をまとめる考えを表明した。なお、本調査については過去に、同大に業務委託して調査を行った経緯があり、直近では2010年度の帯広・十勝の経済波及効果を57億円と試算している。その後、当時に比べ発売額や観光客数、消費動向なども大きく変わっていることから、議会側から新たな調査を求める声があり、今回、改めて経済効果を試算することとなった。

また、同大の耕野拓一准教授と窪田さと子助手が、競馬開催に要する開催経費や人件費、来場者の支出経費(交通費、飲食費など)、国内外の観光客を対象に行うアンケートなどを基に、帯広市単独開催後、過去最高の発売額を記録した昨年度開催の経済波及効果を調査している。

検証結果は2017年度から3年間の収支見通しなどを示す運営ビジョンにも反映する見通しです。

○ 帯広市、楽天競馬共同創設“ばんえいアワード初実施”！！ ～ベストホース・ベストジョッキーなどファン投票で決定し表彰～

ばんえいアワードは、競走馬の資源確保に繋げる目的で創設。帯広市とインターネット総合サービス楽天が共同で実施する「ばんえい十勝応援企画 2016」の一環で、2016年度の「ばんえい競馬」において、活躍した競走馬などを表彰する制度です。

表彰総額は290万円で、「馬」「馬主」「調教師」「騎手」の4部門に分け、選定委員会による選定を経て決定する。

同アワードに設けられる「ベストホース」「ベストジョッキー」「ベストトレーナー」部門においては、インターネットの特設ページ上などからばんえいファンの皆様による投票*1で決定し、セレモニーにもファンが参加できるようにするなど、ファンが楽しめるような趣向を凝らす予定です。*1 2017年1月以降に開設、受付開始予定

■「ばんえいアワード2016」概要

- ・ばんえい競馬独自で優秀馬や馬主など競馬関係者を表彰する制度を創設
- ・賞金総額290万円。競走馬資源確保のため、馬・馬主に手厚く賞を設定
- ・ファン投票(2017年1月以降実施予定)でベストホース・ベストトレーナー・ベストジョッキーを選定
- ・騎手表彰については、ばんえいを応援する団体様と協働することで盛り上げを図る
- ・最優秀2歳馬など4部門は選定委員会による選定
- ・表彰式は関係者だけでなくファンも参加できる形で帯広競馬場にて実施予定

開催	主催：帯広市 共催：楽天競馬（競馬モール株式会社）
対象期間	2016年4月22日～2017年3月27日
選定委員会・表彰馬決定	2017年4月（予定）
表彰式（予定）	日時：2017年5月上旬 場所：帯広競馬場

■表彰項目

種類	表彰項目	賞金	選定方式
馬	●ベストホース	1,000,000円	ファン投票
	○最多勝	200,000円	成績
	○最多出走回数	200,000円	成績
	◎最優秀2歳／3歳／4歳	各100,000円	選定委員会
馬主	○最多勝	300,000円	成績
	◎優秀新規	100,000円	選定委員会
調教師	●ベストトレーナー	500,000円	ファン投票

騎手	●ベストジョッキー ※リーディング表彰	300,000円 日刊スポーツ社と協働	ファン投票 成績
----	------------------------	------------------------	-------------

■選定委員会メンバー(あいうえお順)

帯広市ばんえい振興室、競馬ブック、十勝毎日新聞社、特定非営利法人とかち馬文化を支える会、北海道競馬記者クラブ、北海道新聞社、楽天競馬

○ **西謙一騎手 通算1,000勝達成！！**

～史上最短 デビューから9年9ヵ月で！！～

西謙一騎手(30)は、平成28年10月30日第8競走でオメガグレート号(牡7歳)に騎乗して優勝、通算1,000勝を達成しました。

デビューから9年9ヵ月での達成となり、これまで藤本匠騎手(54)の11年5ヵ月を塗り替えばんえい史上最短記録となりました。

また、1,000勝達成は、記録が残る1963年以降で史上24人目、現役では11人目となります。

西 謙一 (にし けんいち) 騎手プロフィール ※2016年10月30日(日) 8R終了時点	
生年月日	1986年3月4日(30歳)
出身地	青森県八戸市
本年度成績	566戦 68勝
通算成績	7,732戦 1,000勝(うち重賞4勝)
初騎乗	2007年1月6日(騎乗馬:カミカワクイン号)
初勝利	2007年1月15日(騎乗馬:キタノパワー号)
重賞優勝	2009年 銀河賞、2014年 旭川記念、ばんえいグランプリ、 2015年 はまなす賞

○ **槻館重人調教師 通算1,000勝達成！！**

～1999年に調教師開業 17年で記録達成 歴代16人目となる～

槻館重人調教師は、平成28年10月30日(日)第11競走で自身の管理するカクセンキング号(牡4歳、尾ヶ瀬馨騎手騎乗)が優勝し、通算1,000勝を達成致しました。ばんえい競馬調教師の1,000勝達成は、歴代16人目(現役11人目)で、調教師開業17年目での記録達成となりました。

槻館 重人 (つきだて しげと) 調教師プロフィール ※2016年10月30日(日) 11R終了時点	
生年月日	1961年5月8日(55歳)
出身地	岩手県二戸市
調教師デビュー	1999年4月17日(管理馬:ウメノマサムネ号)
調教師初勝利	1999年4月25日(管理馬:ビクトリーラン号)
調教師通算成績	6,870戦 1,000勝(うち重賞32勝)

主な重賞優勝	2006年 帯広記念	管理馬:ミサイルテンリュウ号
	2011年 帯広記念	管理馬:ニシキダイジン号
	2013年 ばんえいダービー	管理馬:オレノココロ号
	2015年 天馬賞	管理馬:オレノココロ号
	2015年 イレネー記念	管理馬:センゴクエース号
	2015年 ばんえいダービー	管理馬:センゴクエース号
	2016年 帯広記念	管理馬:オレノココロ号
	2016年 ばんえいグランプリ	管理馬:オレノココロ号

○ 市産経委員会で「ばんえい競馬運営ビジョン」見直し素案示す！！ ～帯広競馬場施設改修や公正確保取組みなどを盛り込む～

帯広市は、平成28年11月15日(火)に開催した帯広市議会産業経済委員会で、ばんえい競馬の経営安定化策などを盛り込んだ「ばんえい競馬運営ビジョン」の見直し素案を示し、老朽化が進む施設の改修の必要性を強調したほか、元騎手などきゅう舎関係者による馬券購入事案発生を受け、公正な運営に取り組むことを盛り込んだ。素案では今後の基本的な考え方として、築40年以上経過している施設や設備について、「計画的な更新、改修に向けて検討を行っていく必要がある。」と明記。また、公正な競馬の確保を図るため、規律を厳格化し、法令遵守を求め、全ての競馬関係者が公営競技に携わっている自覚と緊張感を持って業務に当たるよう促す。更に、観光客等に対するサービス向上のため、場内に公衆無線LAN(ワイファイ)環境を整備することや、騎手が積極的にイベントに参加するなど、直接ファンと交流する機会を増やしていくことも盛り込んだ。

一方で発売増収策として、スポーツ紙などへの馬柱掲載の地域を拡充するとともに、若者や女性などを対象としたイベントを増やす。更に多くのファンにばんえい競馬の魅力伝えていく方策を検討し、経営安定化に向けこれらの取り組みを進めて行く考えを示しています。

○ 尾ヶ瀬馨騎手 11月27日の騎乗最後に引退！！ ～ラストレース有終の美飾り 25年間の戦いに幕を下ろす～

尾ヶ瀬馨騎手(51)は、平成28年11月27日(日)第8レースのカクセンキング号(牡4歳、槻館重人調教師)に騎乗し、ラストレースを快勝して有終の美を飾った。

尾ヶ瀬騎手は、1992年にデビューし約25年間の熱い戦いに幕を引いた。

生涯成績は20,693戦 2,066勝となりました。お疲れさまでした。

尾ヶ瀬 馨(おがせ かおる) 騎手プロフィール ※2016年11月27日(日) 8R終了時点	
生年月日	1965年2月19日(51歳)
出身地	北海道札幌市
本年度成績	438戦 28勝
生涯成績	20,693戦 2,066勝(うち重賞29勝)
初騎乗	1992年4月18日(騎乗馬:キンメモリー号)

初勝利	1992年4月18日(騎乗馬:ヒメカツラ号)
重賞優勝	1993年ばんえい優駿、1998年ばんえいオークス、1998年ばんえいダービー、 2001年イレネー記念、2008年ばんえいダービー、2009年帯広記念、 2010年帯広記念
受賞歴	1992年 日本プロスポーツ大賞 新人賞

○ 28年度馬登録検査日程決まる 只今馬登録申請受付中！！ ～3月8(水)・9(木)及び3月15(水)、16日(木)～

平成28年度の新馬登録検査の日程が決定しましたので、お知らせいたします。

来年4月予定の第1回能力検査を受検するには、当該定期馬登録検査(下記日程)を受けておくことが必要です。

また、第2回能力検査の一週間前及び能力検査当日に登録検査を行なう予定です。4月以降の馬登録検査日程については、決まり次第後日お知らせ致します。

なお、当該検査日は、混雑を避けるため、あらかじめ調教師毎に検査日(検査時間)が指定されますので、お間違えのないようご注意ください。登録検査に関する詳細につきましては、預託予定の調教師へ事前にご確認ください。

【定期馬登録検査日程及び場所】

検査日時	検査場所
平成29年3月8日(水) 9:00～ 平成29年3月9日(木) 9:00～	帯広競馬場 装鞍所
平成29年3月15日(水) 9:00～ 平成29年3月16日(木) 9:00～	

■ 【登録検査時の注意事項】

- ① 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
- ② 検査時は、必ず馬に轡(くつわ)を装着してください。
- ③ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
- ④ 検査当日、現地(競馬場)での申請受付は一切いたしません。
- ⑤ 検査当日、競馬場に入りゅうし登録検査を受検する場合には、必ず馬伝染性貧血検査及び三種混合ワクチン(所定の間隔で2回実施)の証明書を携行してください。当該証明書のないものは、登録検査は受けられません。ご注意願います。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
10月16日	第39回 ナナカマド賞	ゴールデンフウジン	白戸 耕二	岩本 利春
10月30日	第37回 北見記念	フジダイビクトリー	(株) 三上建設	金山 明彦
11月6日	第41回 ばんえい菊花賞	ツルイテンリュウ	田中 光儀	山田 勇作
11月13日	第41回 クインカップ	アスリート	中山 一行	服部 義幸
11月27日	第7回 ドリームエイジカップ	キサラキク	青山 修	金田 勇
12月4日	第41回 ばんえいオークス	ホクトノホシ	大熊 金八	村上 慎一

優勝おめでとございます！！

◆ 第39回ナナカマド賞（2歳オープン）

単勝6番人気の伏兵**ゴールデンフウジン**が優勝。世代最初の重賞を制し、一躍2歳戦線の主役に躍り出る格好となりました。

青雲賞こそ出走を取り消したものの、それまで7戦無敗のホクショウムゲンが圧倒的な1番人気。デビューから【6・3・1・0】のジェイワン、安定したレースぶりを見せるゴールドインパクトが単勝ひと桁台で続きます。馬場水分1.0%のなか、若駒の大一番がスタートしました。

各馬とも横一線の飛び出しを見せ、軽快に第1障害を突破。未知の基礎重量570キロながら、勢いよく中間点を通過し、早くも第2障害にたどり着きました。

ひと呼吸置いて、各馬が一気に登坂を開始。なかでもメジロゴーリキとゴールデンフウジンの掛かりが良く、内外で離れた2頭がほぼ同時にクリア。差なくジェイワン、ミノルシャープと続きました。

障害後、一気に突き放したのはゴールデンフウジン。抜群のスピードを発揮し、後続との差を広げにかけ、3番手クリアのジェイワンが580キロながらこれに食い下がります。ただ、その差もいっこうに縮まらず、結局ゴールデンフウジンがリードを保ったまま、先頭でゴールを果たしました。追うジェイワンはゴール前で脚がいったん止まったものの、立て直して2着を確保。3着にはメジロゴーリキが流れ込みました。勝ったゴールデンフウジンはこれが4勝目。前走のA-1戦では障害での転倒もあって8着に大敗しましたが、今回は圧倒的な強さを見せて快勝しました。障害にしる、しまいの脚いろにしる、文句のつけようがない内容。今後の成長次第ではビッグタイトルを手にする可能性も十分です。

◆ 第37回北見記念（3歳以上オープン）

単勝2番人気の**フジダイビクトリー**が圧倒的な力を示し優勝。岩見沢記念に続く連勝を果たし、重賞9勝目を挙げました。

5連続連対中と好調のコウシュハウンカイが1番人気に推され、こちらも2連勝中のフジダイビクトリーが差なく2番人気。ニュータカラコマ、オレノココロと、実績のある2頭もチャンス十分という戦前評価となりました。多少のハンデ差もあるだけに、馬場水分0.9%と乾いた砂がどう作用するか。注目のスタートが切られました。

高重量戦らしく、序盤はゆったりした流れ。ニュータカラコマ、フジダイビクトリーあたりが先

行しますが、ほぼ横一線。他馬の出方をうかがいながら進みます。大きく遅れる馬もおらず、そのままの態勢で第2障害を迎えました。

じっくりためたのちに動いたのはニュータカラコマ。ひと呼吸置いてフジダイビクトリーが仕掛け、コウシュハウンカイ、ホクショウユウキ、オレノココロも登坂を開始します。なかでもフジダイビクトリーのかかりが良く、早くも第2障害を突破しました。大きく離れた2番手でニュータカラコマがクリアし、オレノココロもこれに続きます。コウシュハウンカイはヒザを折るなどして苦戦を強いられました。それを尻目にゆうゆうと脚を伸ばすのはフジダイビクトリー。セーフティーリードを保ち、余裕のレースを演じます。しまいの脚いろも確かで、25秒近い差をつけてゴールする圧倒的なレース運びで勝利しました。

激しくなったのは2着争い。ニュータカラコマ、オレノココロはともに2度脚を止め、カインゲキとホクショウユウキがこれを追撃。最後は4頭が入り乱れるかたちとなりました。結局はニュータカラコマが粘り切って2着。0秒4差の3着にオレノココロが入り、以下カインゲキ、ホクショウユウキと入線しました。コウシュハウンカイは障害で手間取り、最下位の8着に敗れました。

前走の岩見沢記念も圧勝でしたが、それ以上の圧巻のレースぶりで連勝を飾ったフジダイビクトリー。今年のばんえい記念を制した実績馬が、いよいよ軌道に乗ってきた印象です。シーズン後半も、さらなる活躍が期待できるでしょう。

しまいに苦しんだニュータカラコマでしたが、しぶとく粘って2着を確保。持ち前の先行力を生かし切った藤野俊一騎手の好騎乗が光りました。これで8連続連対と充実している印象で、今後も要注目です。

◆ 第41回ばんえい菊花賞（3歳オープン）

単勝4番人気のツルイテンリュウが優勝。悲願の重賞初制覇を果たすとともに、世代上位の力を証明しました。

オッズからは、9月に戦線復帰しフレッシュなホクショウディーブと、ばんえい大賞典を制したマルミゴウカイの一騎打ちムード。これに、重賞でも堅実なレースを見せてきたキタリュウキやツルイテンリュウなどがどう立ち向かうか。さらに、ほぼ拮抗した重量設定や、前日の雪による軽い馬場(2.5%)がどう影響してくるか。さまざまな要素が絡んだなかで、三冠第2弾のゲートが切られました。

水分を含んでいることもあり、各馬軽快にスタート。難なく第1障害を突破し、早くも中間点に向かいます。道中は横一線のまま推移。第2障害下にも、ほとんど差のない状態で全馬が到達しました。

ツルイテンリュウとサクラダイチがほぼ同時に動き、マルミゴウカイ、アラワシキング、プレザントウェーも即座に反応。他馬も続々と登坂を開始します。なかでもマルミゴウカイとツルイテンリュウが切れのある登坂を見せ、ほぼ並んで突破。プレザントウェー、サクラダイチ、キタリュウキもこれに続き、さらにオトコギ、ホクショウディーブ、ムサシブラザーも追撃態勢に入るなど、混戦模様を呈して最後の平坦路に入りました。

ここからはしまいのスピード比べ。先頭の2頭マルミゴウカイとツルイテンリュウは馬体を併せるかたちで逃げ、やや遅れて下りたホクショウディーブがギャロップで追走。以下は置かれ加減となり、各馬が一斉に下りた障害から一転。勝負は3頭に絞られました。ただ、マルミゴウカイは若干苦しくなり、ツルイテンリュウが単独先頭。ホクショウディーブも懸命に追いますが、マルミゴウカイまで届くかどうかといったところ。結局、最後までスピードが落ちなかったツルイテンリュウが逃げ切り、初の重賞タイトルを手に入れました。しまいに苦しんだマルミゴウカイでしたが、何とか追撃をしのいで2着を確保。そのわずか0秒2差の3着に、ホクショウディーブが入線しました。

ツルイテンリュウは昨年のヤングチャンピオンシップで2着、今年のばんえい大賞典3着

など、随所で力を発揮してきましたが、三冠第2弾のここで悲願の重賞初制覇。持ち前のスピードをフルに発揮してタイトルをもぎ取りました。世代限定戦では安定して走れており、これなら定量戦のばんえいダービーでも好勝負が期待できそうです。

マルミゴウカイはしまいに甘くなったものの、かろうじて2着を確保。そうは言っても粘り切ったことは賞賛に値するもので、ばんえい大賞典制覇、はまなす賞2着など、今季の充実ぶりは目を見張るばかり。二冠奪取の可能性も十分です。

◆ 第41回クインカップ（4歳牝馬オープン）

単勝2番人気のアスリートが優勝。牡馬相手の銀河賞で3着に食い込んだ力を発揮し、悲願の重賞初勝利。手綱をとった大河原和雄騎手は6日のばんえい菊花賞に続く、重賞2連勝を果たしました。

黒ユリ賞、ばんえい大賞典を制しているシリウスが、牡馬A2相手に連勝している近況も評価されて1番人気。今シーズン、安定したレースぶりを見せるアスリートがこれに続きます。さらに3連勝中のアサヒカツヒメも、勢いを買われたか3番人気に支持され、三つどもえの様相でスタートを迎えました。

馬場水分は2.4%。道中は思い思いのペースで進み、バラついた展開。ただ、中間点過ぎてからは徐々に差がなくなり、障害下にはメモロコマチを除く9頭がほぼ横一線で到達しました。

最初に仕掛けたのはヤマノホシで、アサヒカツヒメとレジーナもこれに反応。その直後にシリウス、アスリート、ウメノスピードあたりも仕掛けます。なかでも切れのある登坂を見せたのはアスリート。ひと腰で障害を上がりきり、先頭で最後の平坦路に向かいます。ただ、2番手以下も混戦で、6、7頭がほぼ並んで障害をクリアしました。

ここからは各馬の我慢比べ。1馬身ほどリードしているアスリートを巡り、2番手グループからシリウスが抜け出して追撃。3番手以降も懸命に食い下がります。しかし、アスリート、シリウスともにしぶとい末脚を見せ、両頭の間隔も、3番手以下との間隔も詰まりません。力のあるゴール前でしたが、結局2頭の差はそのまま。アスリートが悲願の重賞初制覇を果たしました。2着のシリウスから3秒0差の3着にはアサヒカツヒメが入り、人気サイドでの決着となりました。

しぶとい粘りを発揮したアスリート。シリウスと同重量の700キロを曳いての勝利だけに価値が高く、障害の切れ、しまいの脚ともに文句のつけようがない好内容。世代女王の座にふさわしいレースだったと言えるでしょう。今後の牝馬戦線でも要注目の1頭です。

◆ 第7回ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）

単勝6番人気、5歳牝馬のキサラククがスピードを見せつけ優勝。今年の日馬賞以来となる重賞4勝目を挙げました。

4歳、5歳、6歳、7歳、8歳以上の各世代で取得賞金上位2頭が選抜されるこの一戦。重量差もありましたが、それでも近況が充実しているフジダイビクトリーが賞禄の1番人気。若武者センゴクエースがこれに続き、重量面で恵まれた印象のニシキエーカンが3番人気。ただ、そのほかにも地力のある馬がそろっており、オッズからも一筋縄ではいきそうにない戦前予想となりました。

雪の影響でこの日は2.7%の馬場水分で始まり、メインレースを迎えるころも2.4%。全体的に軽い馬場のなか、スタートが切られました。キサラククが引っ張るも、その他は横一線で追走。中間点を過ぎてからホクショウユウキが少し先頭をうかがいますが、各馬離れず追走し、第2障害を迎えました。

ひと呼吸入れてホクショウユウキが仕掛けると、呼応するようにキサラククとカインゲキ、さらにコウシュハウンカイも動きます。他馬も登坂態勢に入りましたが、内枠の3頭、キサラ

キク、カインゲキ、コウシュハウカイが一足先に突破。ホクショウユウキがこれに続き、さらにニシキエーカン、フジダイビクトリーもクリアして最後の平坦路に入りました。

先頭を行くのはキサラクク。激しく尾っぽを振りながらも、しっかりとした末脚を見せます。コウシュハウカイとカインゲキも懸命にこれに食い下がり、ニシキエーカンも猛追。しかし、軽い馬場もあってか、先行する3頭の脚いろは衰えず、結局最後までしのぎきったキサラククが先頭でゴールを果たしました。わずか1秒2差の2着に、同じく5歳のカインゲキ。さらに0秒1差の3着には6歳馬のコウシュハウカイが入線しました。

最後までしぶとい粘りを発揮したキサラククが、4度目の重賞制覇。重量と馬場に恵まれたのもありますが、持ち前の勝負根性は牡馬相手でも魅力十分です。今後もスピード優先の舞台で好勝負が期待できるでしょう。

◆ 第41回ばんえいオクス（3歳牝馬オープン）

単勝9番人気の伏兵ホクトノホシが女王戴冠。重賞初制覇を果たし、手綱をとった村上章騎手もデビュー21年目で初のタイトルを手に入れました。

重賞勝ち馬が不在でしたが、目下10連勝中のラッセルクインが勢いを買われて1倍台の人気。8連続連対中のヒカルナナヒメが続き、黒ユリ賞2着のタナボタチャンが3番人気。スギヤマが14.9倍の4番人気で、ほぼこの4頭が中心という戦前予想となりました。

馬場水分1.5%のなか、女王の座をかけてスタートが切られました。各馬とも様子をうかがいながらの追走で、道中は横一線の態勢。中間点を過ぎても変わらず、一進一退を繰り返しながら運びます。そして、その態勢のまま障害下を迎え、じっくりと息を整えはじめました。

真っ先に動いたのはヒカルナナヒメ。それに少し遅れてフジノウカイとコウシュハローヤル、ラッセルクイン、グレースゴールドも仕掛けます。抜群のかかりで先頭突破を果たしたのはヒカルナナヒメ。差なくフジノウカイが続き、コウシュハローヤルとラッセルクインもクリア。ホクトノホシも障害を下り、最後の平坦路に勝負をかけます。

先頭の3頭が懸命に脚を伸ばし、ラッセルクインもこれに食い下がる展開。しかし5番手クリアのホクトノホシが、外から一気に差を詰めに掛かります。残り30メートル付近でラッセルクインが脚を止めて脱落すると、残り20メートルでコウシュハローヤル、フジノウカイも失速。さらに、先頭を行くヒカルナナヒメも脚が止まってしまい、残り10メートルで敢然と抜け出したのはホクトノホシ。立て直してきたヒカルナナヒメの追撃をものともせず、抜群の末脚で重賞初挑戦・初制覇を果たしました。ヒカルナナヒメが4秒8差の2着に入り、さらに7秒差の3着にコウシュハローヤル。1番人気のラッセルクインは6着に敗れました。

圧巻の末脚を見せたホクトノホシが3歳女王に君臨。これまで、特別戦の白菊賞やフクジュソウ特別でともに4着したのが目立つ程度でしたが、この頂上決戦でいきなり存在をアピールしました。他馬の追従を許さなかった切れ味は目をみはるものがあり、展開次第でタイトルを積み重ねる可能性も十分です。

2着のヒカルナナヒメは残り15メートルあたりでいったん脚を止めましたが、立て直してからはしっかり歩けており、この一瞬だけが悔やまれます。ただ、自分で競馬を作ってきた内容は悪くなく、タイトル奪取のチャンスもまた巡ってくるでしょう。

コウシュハローヤルが3着。ヒカルナナヒメと同じく、立て直してからの脚は悪くなく、懸命に3着に押し上げた内容も上々。仕掛けのタイミングや展開次第で、さらなる活躍も期待できそうです。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。